活動レポート

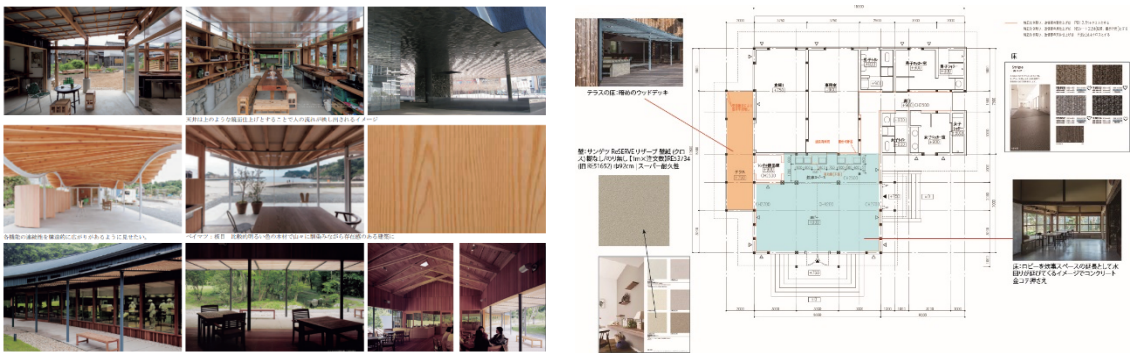
経緯と概要

本プロジェクトは、知人の紹介で越前町に拠点を置くオーディオテクニカフクイから学生ともに越前町が管理するキャンプ場を改修したいという依頼を受け今年の５月から始まりました。そこから、友人と共に建築学生団体を作り、全体構想から基本設計までを行っています。

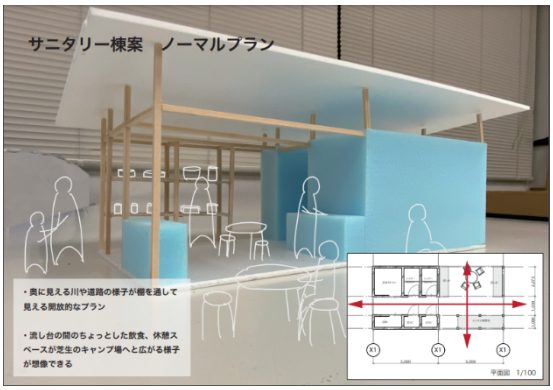
キャンプ場の詳細：悠久ロマンの杜（https://yukyuroman.com/）

これまでの活動内容

今年の５月に依頼を受け、６月から三者での顔合わせをし、現地調査を行いました。そこから福井市内の設計事務所の協力のもと概算を出し、予算との兼ね合いからおおまかな改修部分を検討しました。改修部のプランやコンセプトのプレゼンを企業や行政にしていく中で、予算を大幅に超えてしまう部分や、町の所有物ということもあり用途変更の問題などから何度も打ち合わせを重ね一部改修を先送りすることになりました。第一期として一棟の改修と一棟の新築の計二棟に絞り、来秋のオープンに向けて使用用途の決定やコンセプトの再検討を行いました。１０月には改修部の実測調査や地盤調査を行い、現在は改修部の既存図面の作成や基本設計図面を順次作成している状況です。



プレゼン資料



模型による新設棟の検討

コンセプト「マチのようなキャンプ場」

対象敷地には、使われなくなった管理塔や維持費確保が難しくなり取り壊す予定の茅葺屋根の建物などがあります。一方でコテージなどの使われている建物もあり、歴史などを感じられる様々な要素の建物があります。しかし、全体的には、人気がまばらとなり個々のエリア同士につながりが感じられない現状です。そこで、私たちはマチのように様々な要素が溢れ出し、多くの体験ができる地域の魅力がつまったキャンプ場を提案します。具体的には、オーディオテクニカの強みを活かした音楽イベントができるエリア、地域産業を知ることができる農業体験エリア、こども達が学ぶことができるワークショップエリアなど、キャンプ利用者だけでなく、地域住民も一体となって盛り上げていけるキャンプ場を目指しています。

全体配置図

エリアＡ：取り壊し予定の茅葺棟

エリアＣ：三者共同での調査の様子

エリアＥ：新設棟建設予定の芝生

今後の活動

本活動は一部分が来年の秋オープン予定ですが、全体としては長期的な改修となるため、私達が卒業した後もこのプロジェクトに携わりながら福井県を活性化させていきたいと考えています。

審査結果に対して

現在、合計５棟の建物の既存図面作成や改修プラン作成、概算作成等を進めています。それに伴い、大規模の敷地、建物の検討や企業へのプレゼンの際に利用する模型作成のための模型材料の費用を負担している現状です。そちらの費用を支援していただきたく考えています。

また、自治体・企業・学生個人間での活動であるため世話教員等はいない状況です。